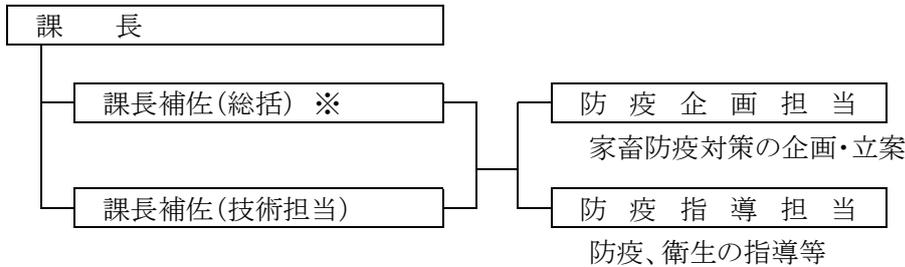


家畜防疫対策課

1 令和8年度の新規・重点事業

- **ひなたの獣医師確保修学資金給付事業** **46,670 千円【防疫企画担当】**
 県職員獣医師を目指す高校生・獣医系大学生に対し、修学資金を給付する。
- **ひなたを支える獣医師確保事業** **16,323 千円【防疫企画担当】**
 県職員獣医師の確保に必要なリクルート活動等に取り組む。
- **家畜防疫体制整備事業** **653,598 千円【防疫指導担当】**
 高病原性鳥インフルエンザや豚熱等が発生した際に、まん延防止のため防疫措置を迅速に実施する。また、豚熱の発生予防のため、円滑にワクチンを接種する。
- ㊦ **宮崎の畜産を護る家畜感染症対策強化事業** **17,584 千円【防疫指導担当】**
 アフリカ豚熱等の海外からの侵入防止のため空港での消毒を実施する。また、ランピースキン病等の発生防止のため衛生対策を推進する。

2 組織



※ 家畜防疫対策課課長補佐（総括）は、畜産振興課課長補佐（総括）が兼務する。

3 主な事業一覧

事業名	終期	R7 予算額 (千円)	担当	掲載 P
ひなたの獣医師確保修学資金給付事業	R8	46,670	防疫企画	73
ひなたを支える獣医師確保事業	R8	16,323	防疫企画	74
家畜防疫体制整備事業	—	653,598	防疫指導	75
㊦宮崎の畜産を護る家畜感染症対策強化事業	R10	17,584	防疫指導	76

ひなたの獣医師確保修学資金給付事業

家畜防疫対策課 46,670千円
【財源：一般財源】

事業の目的

高校生・獣医系大学生に修学資金を給付し獣医師職員を安定確保することで、安全・安心な畜産経営の発展に資する本県防疫レベルの高位平準化の維持及び長期・安定的な公衆衛生行政の体制づくりを図る。

事業の概要

(1) 事業内容

① 地域枠(新規) (補助率定額)

- ア 対象者 高校生3年生(～卒業後1年)
- イ 給付の種類及び額 ※()は私立大
 - ・入学準備金(入学金+前期授業料+実習費用等) 55万円(175万円以内)
 - ・修学資金 10万円以内/月(18万円以内/月)
- ウ 給付期間 6年間

② 一般枠(拡充) (補助率定額)

- ア 対象者 獣医系大学生
- イ 給付の種類及び額 ※()は私立大
 - 修学資金 10万円以内/月(18万円以内/月)
- ウ 給付期間 1～6年間

(2) 事業の仕組み

①②県 補助 → (公社)宮崎県畜産協会 補助 → 修学資金給付者(学生)

(3) 成果指標

家畜保健衛生所獣医師数 現状(令和5年度) 60名 → 令和12年度 68名
食肉衛生検査所獣医師数 現状(令和5年度) 55名 → 令和12年度 66名

事業の期間

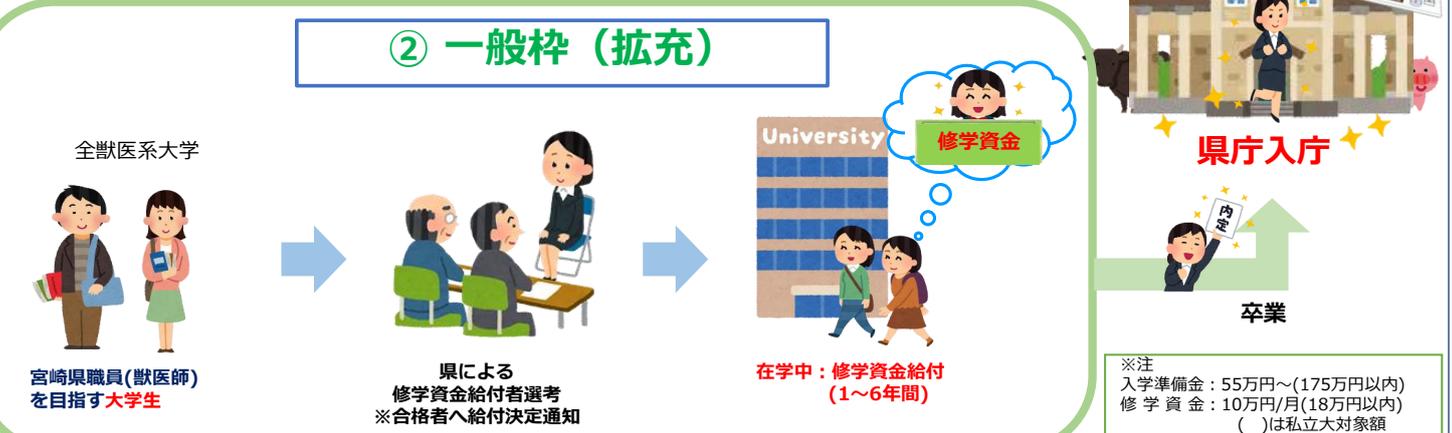
令和6年度～令和8年度

【別紙】 ひなたの獣医師確保修学資金給付事業

① 地域枠(新規)



② 一般枠(拡充)



※注
入学準備金: 55万円～(175万円以内)
修学資金: 10万円/月(18万円以内)
()は私立大対象額

ひなたを支える獣医師確保事業

家畜防疫対策課 16,323千円
【財源:一般財源】

事業の目的

本県における獣医師不足を解消し、防疫レベルの高位平準化を維持し、安全・安心・安定な畜産経営の発展に寄与するとともに、公衆衛生行政の長期・安定的な施行体制を図り、県民の食の安全、暮らしを支える。

事業の概要

(1) 事業内容

① 緊急確保等対策

ア リクルート活動強化 (補助率定額)

- ・大学生(高学年)対策
就職説明会
- ・既卒者対策
求人サイト掲載、就業体験支援

イ 業務改善

- ・ICT導入
- ・業務のアウトソーシング等

② 安定確保等対策 (補助率定額)

- ・大学生向けPR(低学年)
- ・県内高校生向けPR
- ・既卒者向けPR
- ・若手職員のリスクリング等

③ 団体推進事務費 (補助率定額)



(2) 事業の仕組み

①②③県、県  団体(宮崎県獣医師確保推進協議会、(公社)宮崎県畜産協会)

(3) 成果指標

家畜保健衛生所獣医師数	現状(令和5年度)	60名	→	令和12年度	68名
食肉衛生検査所獣医師数	現状(令和5年度)	55名	→	令和12年度	66名



事業の期間

令和6年度～令和8年度

【別紙】

ひなたを支える獣医師確保事業

みやぎきを
しる

- ・就職説明会
- ・出張講義
- ・高校生ガイダンス
- ・PR動画配信



みやぎきに
ふれる

高校生
大学生
就業体験



既卒者



修学資金

【地域枠】
【一般枠】

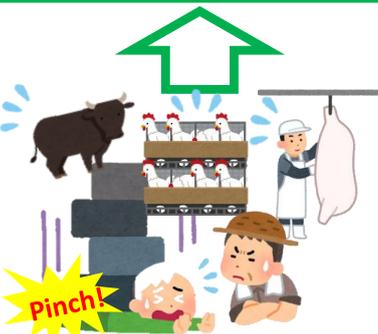
修学資金

採用



みやぎきで
はたらく
まなぶ

- ・若手職員の
リスクリング
スキルアップ
- ・やりがいづくり
- ・働きやすい環境整備



獣医師不足による畜産王国の
衰退、食の安全性の低下



獣医師の安定確保・定着



ひなたの畜産の発展
県民のくらしの安定

家畜防疫体制整備事業

家畜防疫対策課 653,598千円
【財源:国庫、一般財源】

事業の目的

家畜伝染病の確定診断前に必要な防疫措置の事前準備に係る経費、及び豚熱の予防的ワクチン接種等に係る経費を確保し、家畜伝染病のまん延防止を図る。

事業の概要

- (1) 事業内容
 - ① 発生前対策事業
家畜伝染病の確定診断前の事前準備に係る経費
 - ② 初動防疫事業
家畜伝染病の確定診断後の防疫措置に係る経費
 - ③ 豚熱まん延防止対策事業
豚熱ワクチン接種及び野生いのしし検査強化に係る経費
- (2) 事業の仕組み
 - ①②③県



R6年度 高病原性鳥インフルエンザ発生時の掘削作業

事業の期間

平成24年度～

改 宮崎の畜産を護る家畜感染症対策強化事業

家畜防疫対策課 17,584千円
【財源：国庫、一般財源】

事業の目的

水際防疫やサーベイランスの強化、迅速診断技術の確立により、アフリカ豚熱やランピースキン病などの越境性疾病の侵入を防止し、牛の生産性を阻害する牛伝染性リンパ腫や牛ウイルス性下痢の発生を防ぐ。

事業の概要

(1) 事業内容

① アフリカ豚熱侵入防止対策

越境性の重要疾病であるアフリカ豚熱への備えとして、空の玄関口である宮崎空港ビルへの消毒業務委託及び宮崎大学と連携した野生いのししの着実なサーベイランス検査

② ランピースキン病迅速診断・衛生対策

新たな越境性疾病の侵入に備え、迅速かつ的確な病性診断手法の確立とモデル農場における吸血昆虫対策の取組を推進

③ 地域ぐるみでの慢性疾病清浄化支援対策

牛の生産性を大きく阻害する牛伝染性リンパ腫及び牛ウイルス性下痢の農場清浄化を支援

(2) 事業の仕組み

① 県委託 民間企業、大学 ② 県 ③ 県補助 畜産協会 補助 獣医師等

(3) 成果指標

野生いのしし検査頭数 現状（令和6年度）513頭／年 → 令和10年度 600頭／年

事業の期間

令和8年度～令和10年度

【別紙】改 宮崎の畜産を護る家畜感染症対策強化事業

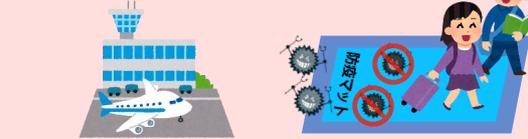
① アフリカ豚熱（ASF）侵入防止対策

アフリカ豚熱（ASF）がアジア各国へ拡大！

STOP!

県内に侵入すれば 養豚産業に深刻な影響

● 宮崎空港ビルへの消毒業務委託



● 野生いのししのアフリカ豚熱（ASF）・豚熱（CSF）対策

宮崎大学 家畜保健衛生所

<野生いのしし捕獲・検査強化> <死亡いのししの検査強化>

アフリカ豚熱・豚熱警戒中!!!



② ランピースキン病※迅速診断・衛生対策

※ これまで県内で発生していないため、ランピースキン病の診断経験がない



発熱、皮膚病（結節）、乳量低下が起きる牛の法定伝染病（吸血昆虫が感染を広げる）

● 診断技術の向上

● 吸血昆虫対策の実証試験

③ 慢性疾病清浄化対策支援

地域で問題となっている牛の生産性を大きく阻害する疾病

牛伝染性リンパ腫 (EBL)

牛ウイルス性下痢症 (BVD)

● 民間獣医師等を活用した検体採取料補助

清浄化

地域ぐるみでの清浄化を支援